

保育学科（保育専攻・介護福祉専攻）

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

【保育専攻】

1. 【心豊かな人間力】
人間性と品格を備えた社会人として行動できる。
2. 【専門的知識や技能】
保育に関する専門的知識・技能を修得し、体系的な理解ができる。
3. 【コミュニケーション能力】
保育の対象を理解し、保育にかかわる様々な人々と協働する力を身につけている。
4. 【課題解決能力】
保育に関する専門的知識・技能を応用し、様々な課題を解決する保育実践力を身につけている。
5. 【主体的に学ぶ力】
自己課題を探究し、地域の保育の発展と向上のために学び続ける力を身につけている。

【介護福祉専攻】

1. 【心豊かな人間力】
人間性と品格を備えた社会人として行動できる。
2. 【確かな専門的知識や技能】
介護福祉の専門的な知識と技能を修得し、体系的な理解ができる。
3. 【コミュニケーション能力】
介護が必要な人や家族、職場の同僚や上司、他の専門職および地域の人とコミュニケーションすることができる。
4. 【課題解決能力（実践力）】
専門的な知識や技能を用いて課題を解決し、自立を支える介護を実践できる。
5. 【主体的に学ぶ力】
介護福祉士としての使命感を持って、介護を実践し学び続ける態度を身につけている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成実施方針）

【保育専攻】

1. 大学教育の学びの基礎を養うために、基礎教育科目を配置する。
2. 保育・教育の本質と目的、保育の内容と方法に関する科目を配置する。
3. 保育の対象の理解、他者との協力や理解を深めるための科目を配置する。
4. 保育者としての課題解決能力を養うために、保育に関する科目や実習等の科目を配置する。
5. 保育者としての問題解決能力や総合力を養うために、保育に関する科目や総合演習を配置する。

【介護福祉専攻】

1. 人間力を養うため、「茶道文化」「社会人基礎入門」をはじめとした基礎科目、「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」「介護の基本」などの専門科目を配置する。
2. 専門的知識と技能を養うため、介護の領域として「介護の基本」「生活支援技術」など、こころとからだのしくみの領域として「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」など、人間と社会の領域として「社会の理解」など、順次性と系統性を考慮しながら配置する。
3. コミュニケーション能力を養うため、基礎的な知識の習得を目指して「コミュニケーション技術」を配置し、また、コミュニケーション能力を発揮する機会として「介護実習」を配置する。
4. 課題解決能力を養うため、「介護過程」を配置し、「介護の基本」「生活支援技術」といった知識と技能の習得に関する科目と「介護実習」をつなぐ。
5. 主体的に学ぶ力を養うため、実習前後の準備と事例研究の作成を行う「介護総合演習」と 59 日間の「介護実習」を配置する。

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

【保育専攻】

1. 高等学校での教育課程を幅広く修得している人。
2. 子どもの養護と教育に関心を持ち、思考力、判断力、表現力の伸長に努力できる人。
3. 豊かな感性と人間力の伸長に努め、他者と協力して学ぶことができる人。
4. 子どもを取り巻く環境に関心を持ち、地域の発展に貢献しようと努力できる人。
5. 子どもに関心を持ち、真摯な姿勢で学ぶことができる人。

【介護福祉専攻】

1. 高等学校の教育課程を幅広く修得し、人に対する思いやりや関心が高い人。
2. 介護福祉に関する知識や技能を学びたいという積極的な意欲をもっている人。
3. これまで部活動やボランティア活動などに積極的に取り組んだ経験がある人。
4. 自己の能力の向上に入学前から取り組む意欲がある人。
5. 介護福祉士として地域・社会に貢献したいと考えている人。